

「経験は丈夫な足腰の糧！」。今後は研修委員会や事務局意外にも、その委員会だからこそその発想に立った全体会を能動的に企画できないものか？ そうしたらもっとフレッシュで楽しいこともできるんじゃないか……ということで、若手部員がだんだんと増えてきたこの時期を、育成とレベルアップの好機と捉え、大谷新執行部体制の下、研修委員会の機能は従来のままに、他の委員会にも主体的に活動する機会が作られました。

そこで今回全体会を担当した広報委員会では、日頃の編集活動においての問題点などを検証すべく、チャイルド社の佐野副部長をお迎えして“PC 研修会”を開催することとなりました。今回は新部員であるフラワーチャイルド保育園副園長の古谷野好栄先生による研修報告を掲載いたします。

青年部全大会に参加して

フラワーチャイルド保育園
副園長 古谷野 好栄

今回、初めて青年部の全体会に参加させていただき、ありがとうございました。

今回の研修の内容は、ワープロソフトの使い方ということで、PCのプロフェッショナル・チャイルド社コンピューター部の副部長(佐野勝彦氏)をお招きし、MS ワードのレベルアップを図ることを目的として行われました。各自使い慣れたノートパソコンを持参し、参加者全員がそのプロの技を覚えようと意欲的に始めました。

事務管理の仕事で毎日利用すると思われるワードは、基本なくして使いこなせません。独学でワードを覚え始めた私は、いろいろと操作方法に無駄があり時間がかかっていたことに気付かされました。佐野さんは、今まで培ってきた知識や技術を‘こうしたらもっと効率よくできる’ といった方法で順序良く、丁寧にプロジェクターを使用して教えてくださいました。

感想としては、あっという間に1時間30分が過ぎてしまい、もっとたっぷり時間を採ってがほしかったと思います。そして、もっと細かく色々な応用編も勉強したかったという気がしました。私のような独学の者やワードを使い始めて間もない方にはとても参考になり、今後の事務管理の仕事のレベルアップを図ることができると感じました。

このようなPCに関する研修会は、我々管理職員の力量アップに欠かせない有意義なものになると思いますので、今後もこのような機会を作っていただきますことをお願いし、感謝の言葉といたします。



子育て支援センター訪問記 part2



豪華なエントランスの玄関

に遊びのためのお庭といった感じで、子どもたちが集まり楽しそうに遊んでいました。

小川町は自衛隊百里基地を有しているという土地柄、多くの自衛官とその家族が住んでいます。その多くの子ども達が未就園児のため、子育て支援の必要性が高い地域でもあります。今回訪問した、さくら保育園は園舎改築に伴い、今年度から新たに地域子育て支援センターが開設されました。

訪問当日は遊びの広場が行われており、約30組の親子が絵の具あそびを楽しんでいました。室内での製作が終わると、広い芝生の園庭に出て自由に遊びます。開始から5ヶ月にもかかわらず、毎週多くの親子が参加しているそうです。

11月9日 旧小川町の社会福祉法人泰明会 さくら保育園へ子育て支援センターの視察に伺いました。

さくら保育園の第一印象は、ふんだんに木材を使ってとても暖かみのある園舎だということです。いくつもあるトップライトの屋根からは暖かい日差しが注ぎ込み、園舎の北側の部屋の明るいことに驚きました。広い廊下、床面積に余裕のある保育室では子ども達が落ち着いた活動をしていました。

「行事のための園庭にたくない」という考えから園庭一面に敷き詰められた芝生の真ん中に大型遊具が置かれ、まさ



大型遊具を真ん中に配置した芝生の園庭



スタンプでぶどうの絵を制作中

事業内容としては①毎週水曜の「遊びの広場」では親子で製作、クッキング、英会話、人形劇鑑賞、体操教室、栄養士さんによる講演会とバラエティ富んだ内容で参加希望者が多い時はお断りする場合もあるとの事です。それ以外にも②園庭解放(火、金曜) ③子育て相談(随時)を行っているとの事でした。小規模



園長先生から説明を受ける青年部員

型の支援センターですが行事内容も参加人数的にも通常型以上のものであり担当の先生の熱心な取り組みに関心させられました。



広報委員会紹介

広報委員会委員長

ひまわり保育園園長 小橋 達也

今年の4月から委員長に就任いたしましたひまわり保育園園長の小橋と申します。よろしくお願いいたします。

私は「事務職」のサラリーマンとして10数年間勤務し、平成12年に副園長として父が創立した保育園に入りました。入ってみるとそれまでと違い周りにはみんな女性ばかり、そしていきなり副園長という偉そうな肩書きで入ってきたので迷惑そうな顔で見られ、居場所が見つからず少々辛い立場でした。当時は「何をやったら良いのか」それさえも分からない状態でした。青年部に入って、書類の書き方、補助金のもらい方、制度のこと、人事のこと、園児確保の方法などいろいろな知識、情報を教えていただき本当にありがたく思いました。

もうすぐ青年部の年齢制限にひっかかる年になってしまいますが、あと5年早く青年部に入部すれば良かったととても残念に思っています。残された期間をお世話になった先輩方へのご恩返しのため、希望に満ちた2代目、3代目の先生方のお力になれるよう頑張っていきたいと思っています。

ところで、広報委員会の仕事ですが、青年部広報誌「礎」の定期号を年2回、臨時号を年1回発行することが主な内容です。機関誌の発行ということで取材、校正、印刷、発送と集まる機会が多く大変ですが、オープンな雰囲気でもとまりの良い委員会です。

保育の仕事に入ったばかりの方、園・地域の中で話し相手がなく孤独感を感じている方、広報委員会に入って言いたいことを言い、悩みや疑問をぶつけあって気分転換を図りましょう。若い皆さんの入部を心待ちにしています。

調査研究委員会紹介

調査研究委員会委員長

小鳩保育園園長 工藤 義人

日頃より、調査研究委員会活動にご協力いただきありがとうございます。

調査研究委員会では今年度より新たに5名の若手メンバーが加入し、とても活気ある委員会になりました。メンバー一人一人が素晴らしい賜物を持っています。きっと大きな力を発揮してくれるでしょう。やる気はあるのですが、なかなか実行に移すのが遅い委員長ですので、尻を叩いていただき、皆様のお力添えをいただきながら、頑張りたいと思います。たくさんの情報やご意見をお待ちしています。

先日、ある研修会において講師の先生が、保育者にとっての必要な事として「誠意」の二文字を上げていました。自分に問うたとき、様々な事を誠意をもって行えたのか、そして人と接することが出来ていたのか考えさせられました。この「誠意」の中には様々な意味が込められていますが、この意味をもう一度よく噛み締めながら、心を含めて保育、委員会活動を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

※研修委員会紹介は都合により次号に掲載する予定です。

全国保育セッション in 八王子

御前山保育園
主任保育士 川又 朋子

2年越しの練りに練った保育セッションを、東京八王子にて開催しました。全国各地から72名が参加し2泊3日の合宿形式で、笑いあり涙ありの充実したセッションでした。今回のセッションのポイントはなんと言っても「プロジェクトアドベンチャー(PA)」!! 研修内容は幅広く経営者向けから小中学生向けの登校拒否や閉じこもりのこどもたちの心のケアを対象としたものまで数千種類のメニューがあると聞きました。



文字通りのハイエレメント 協調性と
決断力が鍛えられます



共同して行う自炊の様子
先ずは火をおこすことから

今回は「保育士を対象

に、日々の保育で活用できることを取り入れながら保育士自身の精神的向上、人として協調性・向上心・決断力などを磨いてもらう」ことを目的とし、朝から晩までPAスタッフの指導のもと屋内外において実施しました。指導にあたってくださったPAスタッフの方々の一言一言が、新たな発見と感

動を与えてくれました。研修が終わるころには、グループメンバーが3日前に初めて会ったとは思えないくらい互いに信頼をよせ、団結感が満ち溢れていました。帰路の電車の中で、今回のセッションを振り返りながら明日からの保育に思いを寄せると心がとても弾んでいました。

編集後記



寒い日が続いていますね。早いもので、今年も残り僅かになってしまいみなさんも何かと忙しい日々を過ごしていることと思います。

振り返ってみると、私にとって今年は青年部入会など大変意味深い一年になりました。全体会や研修会などに出席し、これからの保育の担い手として自分の幅を広げられたような気がします。青年部活動は将来園長になった時に自分なりの保育園を作るために大変勉強になると思います。私は現在29歳ですが、早い段階で青年部に入会できたことは、大変幸せなことだと思っています。

最後に……みなさん良いお年をお迎えください。

クリーム大福マン

〒310-8586 水戸市千波町 1918

茨城県民間保育協議会青年部広報委員会

平成 17 年 12 月発行